

浅口市 アッケシソウ自生地の地域保護活動

浅口市の南端に位置する寄島干拓地は、本州唯一のアッケシソウ自生地（市指定天然記念物）があります。

浅口市寄島町アッケシソウを守る会は、平成16年からアッケシソウ自生地の保護活動に取り組んでいます。活動は、年3回の草刈り、9月の緑のアッケシソウを楽しむ会、10月頃のアッケシソウ祭りの開催、自生地周辺の巡回、地元小学校への出前講座、アッケシソウ通信の発行などを行っています。

当会は、環境保全を図るとともに、地域の大切な資源であるアッケシソウ及びその自生地の保護を通じた自然の大切さを伝える活動を行っており、地元のスポーツ少年団、高校生、企業の従業員の方々から、草刈り活動の協力をいただいています。

また、当会の保護活動は、浅口市の補助金の支援を受けて、活動に役立てています。

主な活動主体	浅口市寄島町アッケシソウを守る会・浅口市
保護動植物の位置付け	岡山県版レッドデータブック 2020：絶滅危惧Ⅰ類 環境省レッドリスト 2020：絶滅危惧Ⅱ類

活動状況（写真提供：浅口市教育委員会）

